



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第523号

2021年10月4日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

「少年自然の家」は、子どもにとってかけがえのない施設

少年自然の家は、市内全ての小学校（22校）に通う小学生が高学年（4・5・6年生）になると1泊2日の宿泊学習ができる施設です。

八千代市の自然豊かな環境で、オリエンテーリング、ウォークラリー、野外炊事、キャンプファイヤー、そしてプラネタリウムなど、子どもたちにとって貴重な体験が出来るかけがえのない施設です。

施設を利用したことがある市民からは、高い評価の声があがっている少年自然の家は、耐震化が未定という理由で、2020年4月から供用停止の対応を取っています。



入口が閉鎖されたままの少年自然の家

市民へ知らされない廃止の方針は最終判断ではない

休止している少年自然の家について、2020年11月に行われた議員説明会で財務部から、「公共施設再配置等推進委員会で廃止の方針を決定」と報告しています。

日本共産党は、2021年9月の定例議会で、あらためて確認したところ「保護者の皆様等に説明を行ったうえで最終判断を行う」という回答でしたが、「少年自然の家を実際に利用したことがある市民や教育に携わる方々への説明も必要」と訴えました。

民間活力の可能性を模索したあげく廃止へ!?

少年自然の家の耐震化費用については、2020年3月の予算審査特別委員会で「約2億円」と回答していました。

しかし、その後の民間活力を導入した事業の可能性についての調査の結果、「耐震補強や老朽化対応の費用で約16億4千万円が必要、継続的な施設運営に向けた官民連携による事業の課題など」という理由で、公共施設再配置等推進委員会が廃止の方針を決定しています。

子どもたちのためにも少年自然の家を存続すべき

日本共産党は、「市が民間活力を優先してしまい、子どもたちへの思いを置き去りにしてしまっている」ことを指摘したうえで、市長とともに各部局が力を合わせて、少年自然の家を存続させるように求めました。